

第3回経営審議会議事録

平成21年度第3回公立大学法人宮城大学経営審議会	
日 時	平成22年3月16日（火）午後1時から午後3時まで
場 所	宮城大学大和キャンパス 本部棟 4階 応接会議室
出 席 者	馬渡理事長、白石副理事長、大和田理事、武田理事、金子理事、保理理事、阿部委員、大山委員、佐藤委員、柳川委員
欠 席 者	井部委員、大滝委員
事 務 部 等	池戸理事、小林課長、中村課長、真山参事兼課長、新妻課長、財務課辻市
議事概要	1 議事録署名人の選任 柳川委員及び大和田理事が選任された。 2 審議事項 (1) 平成22年度当初予算（案）について 資料1により平成22年度当初予算（案）の概要について説明された。委員から次のような質問があり、それぞれ説明がなされた。 ①教員人件費の平均金額について質問があり、常勤・非常勤で差があるが、常勤教員全体で平均すると概ね1千万円となっているとの説明があった。 ②役員人件費が増額となっている理由について質問があり、平成21年度の中途から採用された役員がいることによるものであるとの説明があった。 ③研究費の財源について質問があり、22年度は研究費予算を減額せず維持することとしたが、この財源として不足する分には、科研費の間接経費の半分及び兼業納付金を充て、授業料等の収入を充てている旨説明があった。 ④外部から獲得した研究費を含めた研究費予算の教員1人当たりの金額及び外部資金研究費の学部毎の獲得状況について質問があり、教員1人当たり研究費は、約145万円（教員研究費予算60万円、外部資金85万円）となっており、外部資金の学部毎の獲得状況は、食産業学部が多くなっている旨「資料9」により説明があった。 ⑤学生数に対する教員数の割合は、他大学と比較してどうなっているのかとの質問があり、学部毎に違いがあるが、平均では若干少ない状況となっているとの説明があった。 ⑥庁舎管理経費について、受託業者の習熟期間の委託料の取扱いに

	ついて質問があり、現契約が5月末までとなっていることから、4月と5月の2ヶ月が習熟期間として重複することとなる旨説明があり、次回の契約更新時には、契約時期等について検討することとされた。 ⑦光熱水費を5%削減するとしている「エコキャンパス推進」の内容について質問があり、また、光熱水費節減の工夫が不足しているように見えるとの指摘があった。 これに対しエコキャンパスについては、審議事項5で改めて説明すること及び熱効率を改善する工夫を検討していきたい旨説明がなされた。 以上の説明及び質疑応答の後、本件は全会一致で承認された。 (2) 教員の任期及びテニユアに関する規程（案）について 資料2により制度の概要について説明された。委員から次のような質問があり、それぞれ説明がなされた。 ①テニユア制と年俸制との関連はどうなっているかとの質問があり、県との協議では任期制と年俸制が議題になっているが、まず任期制を導入しようというもので、年俸制は引き続き検討していくとの説明があった。 ②教授は任期が長いと理解してよいかとの質問があった。これに対して、教授も含めて任期制とするのか、教授にはテニユアを適用して終身雇用を維持するのかという検討をおこなったが、勤務期間が長く、教授に昇進した教員については、テニユア制のもとで終身雇用ができるという内容となっている旨説明があった。 ③定年について質問があり、教員は65歳、事務職員は60歳となっているとの説明があった。 ④教員の任期が決まっていると、学生にとって指導教官が途中でいなくなるということがあるが、これについては、どういう議論があったかとの質問があった。 これについて、審査基準についての議論はしているが、現在の教員評価において連続して最低評価を受けた教員については、再任用しないということは有り得ると思われる。しかし現在までそのような教員はいなかったので、教育上大きな支障があるとは考えていないとの説明があった。 また、学生の評価は大学の勤務評定等と無関係なので、教育上の
--	--

	マイナスを最小限にするための配慮は必要と思われるとの指摘があり、途中で教員の任期が切れた場合には、代替措置を検討する等十分な配慮が必要と思うとの説明があった。 以上の説明及び質疑応答の後、本件は全会一致で承認された。 (3) 職員の出向に関する規程（案）について 資料3により説明された後、質問等は無く、本件は全会一致で承認された。 (4) 共通教育センター規程（案）について 資料4により説明された後、質問等は無く、本件は全会一致で承認された。 (5) エコキャンパス推進会議規程について 資料5により説明された後、本件は全会一致で承認された。なお、委員から、節電等の省エネは当然であり、例えばバイオ技術の活用等宮城大学らしいエコ対策を推進されたいとの意見があった。 (6) その他 学長選考会議から経営審議会あてに学長候補者の推薦依頼があり、6月16日開催予定の次回経営審議会において学長候補者2名以内を決定したい旨説明があり、ついては、6月7日までに文書で1名以内を推薦されるよう各委員あて依頼がなされ、了承された。 2 報告事項 (1) 教育研究事項について ①大学院看護学研究科博士課程の設置認可関係、②入試・就職状況、③国際交流・地域貢献、④外部資金獲得状況について説明があった。 (2) 人事事項について ①役員報酬・職員給与改定、②教員人事、③事務職員人事、④宮城県との人事交流について説明があった。 (3) 財務事項について ①21年度2次補正予算、②学習奨励基金について説明があった。 (4) その他
--	--

	①地域再生人材創出 JST プログラム申請、②ベストティーチャー賞について説明があった。 この議事録は、平成 21 年度第 3 回公立大学法人宮城大学経営審議会の議事録である。 平成 22 年 3 月 16 日 公立大学法人宮城大学 経営審議会議長 馬渡尚憲 議事録署名委員 柳川輝久 議事録署名委員 大和田克己
--	--